【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2002-295227(P2002-295227A)
【公開日】平成14年10月9日(2002.10.9)
【出願番号】特願2001-387962(P2001-387962)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ０１Ｎ　 3/02
　Ｂ０１Ｄ　46/24
　Ｂ０１Ｄ　53/34
　Ｂ０１Ｄ　53/38
　Ｂ０１Ｄ　53/56
　Ｂ０１Ｄ　53/62
　Ｂ０１Ｄ　53/81
【ＦＩ】
　Ｆ０１Ｎ　 3/02　　３０１Ｂ
　Ｆ０１Ｎ　 3/02　　３０１Ｍ
　Ｂ０１Ｄ　46/24　　Ｂ
　Ｂ０１Ｄ　53/34　　１１６Ａ
　Ｂ０１Ｄ　53/34　　ＺＡＢ
　Ｂ０１Ｄ　53/34　　１２９Ａ
　Ｂ０１Ｄ　53/34　　１３５Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月14日(2004.12.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
　　【００１０】
　【発明の実施の形態】
　図１に示すように、本発明の一実施形態に係る自動車排ガス脱臭集じん装置１は、筒状体に形成され、自動車の排気筒（図示せず）に接合された後、ハンガーバンド２を介して自動車車体に装着可能とされている。筒状体の外形は外壁カバー３として例えば鉄やステンレス等の金属で形成される。外壁カバー３の内側には、最内側より順次螺旋体としての金属製コイル４、内側釜５、外側釜６、集じん筒７が配置される。集じん筒７の外側は貯炭室７Ｃとされる。内側及び外側の釜５、６は、いずれも陶器粘土と耐火レンガ及び緑泥片岩の粉末を混合した粗材を焼結して構成され、直径３～１２ｍｍの多数の穴を明けたものである。これらのことから、各釜は、穴目釜と総称される。内側釜の詳細を図２に示す。外側釜６も図２のものと同様である。図示の如く、中心から半径方向に向けて多数の穴８が明けられている。この穴８は半径方向でのガス流９の通路となるものである。